

はじめに

わが国では、全国的に少子化が進んでおり、本市においても同様の傾向となっています。少子化の背景には、核家族化の進行、労働形態の変化、ライフスタイルの多様化など、様々な要因から子どもを産み育てようとする家庭を取り巻く環境が変化していることが影響しています。

このような変化を受け、親が子どもを育てる上で必要とする子育て支援サービスのニーズは一層多様化し、従来にも増してサービスの充実や充足が求められています。そうした中、本市では出生率の向上や、「若い世代に選ばれる『まち』をつくる」ことを目指して、子ども・子育て支援施策に重点をおいて取り組んでいます。

平成26年度に策定した「半田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、教育・保育、地域子育て支援事業に係る各事業を実施してまいりましたが、今般、計画期間が満了することに伴い、その後の国の制度変更や社会情勢の変化なども反映させ、子ども・子育て支援の更なる推進のため本計画を策定いたしました。

本計画では、新たに本市の子ども・子育て支援全体の施策体系を整理し、本計画期間中に重点的に取り組む内容を定めるとともに、国際化の進展、特別支援児の増加、子どもの貧困対策の推進といった、課題へも対応していくものとしています。

本市の子ども・子育て支援の推進にあたっては、本計画を基本としつつ、ニーズの高い子育て支援施策の充実に着実に対応してまいります。また、子どもの健やかな育ちを支え、子育てしやすい環境づくりに引き続き取り組んでまいりますとともに、支援の必要な児童や家庭が多く存在するなか、行政だけでなく地域住民の皆様や各種団体の皆様の参画も得ながら地域社会全体で子どもの健やかな育ちを支えられるよう体制整備を進めてまいります。

末筆ながら、本計画の策定にあたり多大なるご尽力をいただきました「子ども・子育て会議」委員の皆様をはじめ、「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」にご協力をいただきました皆様、並びに関係各位に心より感謝申し上げますとともに、今後の計画の推進に向けて尚一層のご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。



令和2年3月
半田市長 榊原 純夫